

## 『 夢 』 ～今、わたしたちにできること～

学校所在府県：大阪府

学 校 名：堺市立野田小学校

名 前：橋本 嘉子

実践教科：総合・道徳

指導時数：9 時間

対象学年：小学 4 年生（3 クラス）

対象人数：110 人

### 1. 教師海外研修を通して感じたこと

実際に現地に行き、“せかい”を見ることで、本で知ることや報道で見る以外に「こんな“せかい”もあるのか。」ということを実感した。“せかい”には2つの視点があった。1つは「今まで知らなかったことを知った」、もう1つは「当たり前だと思ったことが当たり前でないと分かった」ことである。今回の研修で、現地の方々との交流や、同じ日本人として現地で働いているの方々との出会い、ホテルのスタッフや店員との何気ない会話から、普段では得ることのできない様々な情報を得ることができた。広い大地、たくさんの人・資源・農産物、手をつけはじめたばかりの事業、さまざまな人種の人々が当たり前のように暮らしている日常等、ブラジルには未知の未来があるように感じた。また、ブラジル人のイメージは“陽気”、“掃除についての考え方”、“サッカー好き”といったイメージがあったが、なぜそうなのかをはっきりとこの目で確認することができた。最後に、今回の研修を通して、それぞれの場所でそれぞれに目的をもち、情熱をもって教育活動を行う先生たちにお会いし、いろいろな考え方があり、話す・聴くことの大切さを改めて実感した。

### 2. カリキュラム

#### (1) 実践の目的・背景

今回の研修の目的は、観光や報道で見る風景や教科書の知識だけではなく、今その国で起こっている現実を子どもたちに届けられるようにすることであった。オリンピックやFIFAワールドカップが開催されることが決定し、多くの企業がブラジルに進出している。また、子どもたちにとってブラジルという国は、サッカーワールドカップ開催年であったために身近に感じることができ、興味をもつことのできる国であった。そんなブラジルの現実を伝えることにより、“世界に目を向けた子どもたち”を育成することを目的に研修に参加した。研修の中で、ブラジルの子どもたちの学ぶことへの貪欲さやひとみの輝きが強く印象に残った。「あなたの夢は何ですか？」の質問に対して、何の迷いもなくはっきりと自分の言葉で伝えることができる子どもたち。また、夢には遠い（将来）夢と近い（明日）夢があることを教えてもらった。明日の夢を語る子どもたちの背景に見えるもの、遠い未来の夢を語る子どもたちの背景にあるものを考えると、ブラジルでの日々の生活と国の情勢が見えてくる。明らかに日本の子どもたちの方が夢を語る上での環境が整っていると感じるが、私たちが何のために“夢”をもつのかを一緒に考えていき、人や環境に左右されることなく目的をもって行動し、“自分で物事を考えることができる子ども”を育てていきたいと思い授業を実施した。

#### (2) 授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
<b>1 時限目</b> ブラジルについて考える （事前授業） ＊ブラジルに関心をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インターネットや、サッカーワールドカップ開催時のテレビ放送からブラジルをイメージする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インターネット</li> <li>● テレビ</li> </ul>
<b>2 時限目</b> ブラジルを知る① ＊文化・考え方の違いを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地図や資料等でブラジルの概要を知る。</li> <li>● ブラジルで入手してきたものや写真を使用し、今までに抱いたイメージと実際を照らし合わせるにより、ブラジルについて知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 写真</li> <li>● ブラジルで入手したものの</li> </ul>
<b>3・4 時限目</b> ブラジルを知る② ＊文化・考え方の違いを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グループに分かれ、写真を見て日本との違いや、なぜ違うのかを考える。</li> <li>● グループで出た意見を発表する。</li> <li>● 感想を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 写真</li> <li>● 動画</li> </ul>

<b>5 時限目</b> 世界のことを知ろう① *ブラジル以外の国に目を向ける。	●次時の JICA 出前授業に向けて、フィリピン、サモア、ケニア、中国、ジャマイカの国についてインターネット等を利用して調べる。	●インターネット ●地図帳 ●資料集
<b>6・7 時限目</b> 世界のことを知ろう② *ブラジル以外の国を知る。	●JICA 活動紹介 ●自分の担当国のブースに行き、写真や資料を見ながら、JICA 関係者の体験談を聞く。 ●班員への報告・交流活動 ●全体の質問タイム	●JICA 出前授業
<b>8 時限目</b> みんなの夢・わたしの夢 *遠く離れた国の同世代の夢を知ることにより、考え方の多様性に気づく。	●前時の振り返りを行う。 ●ブラジルの同世代の子どもたちが答えた夢（アンケート）を見る。 ●友達の意見なども聞き、夢（自分が想像する世界）について考え方の多様性に気付く。	●ブラジルで収集した「夢アンケート」
<b>9 時限目</b> 今できること *自分と向き合う。	●自分にとっての「夢」とは何かを考え、今の自分に何ができるかを考える。 ●ブラジルや他の国について学んだことを通して、多様性を認めるきっかけとする。	

### 3. 授業の詳細

#### 1 時限目：ブラジルについて考える（事前授業）

ねらい…ブラジルに関心をもつ。  
 テーマ：ブラジルってどんな国だと思う？

◆内容◆ インターネットや、サッカーワールドカップ開催時のテレビ放送からブラジルをイメージする。

#### ◆所感◆

子どもにとってブラジルのイメージはサッカーやアマゾン川といった回答が圧倒的に多かった。また、調べるといっても外国のことをどう調べたらよいか分からない子どもが多く、情報源は報道で見るものがほとんどであることを改めて感じた。

#### 2 時限目：ブラジルを知る①

ねらい…文化・考え方の違いを知る。 テーマ:もの・写真ランゲージ「これなーに」

#### ◆内容◆

- ① 地図や資料等でブラジルの概要を知る。
- ② ブラジルで入手してきたものや写真を使用し、ブラジルについて知る。
  - ・どんな「こと」があったのか。 ・どんな「もの」があるのか。
  - ・どんな「ひと」がいるのか。

#### ！ココがポイント

写真やものの多くの情報を、こと・もの・ひとの3つに分けて提示をすることにより、整理をつけるようにした。(ワークシート[資料1])



児童の活動の様子 1

【こと】 レジ待ちが当たり前、学校が2部制、畑の大きさが違う“東京ドーム〇個分”、エレベーターの注意書き、車は時速160KMを出す、マテ茶は無かった、サッカーをしている人は少ない、安倍首相が来ていた。(掃除や落書き問題については、踏み込んで考えていきたいと思い、次時にまわすことにした)

【もの】 琉球そば、米がお土産に売られている、警察に「鯨」といった額がある、アグロフォレストリー、アサイー、カカオ、コーヒー豆、日系社会、鳥居

【ひと】 ブラジルの物を日本に売りたい（フルッタの社長）、学校に落第制度があっても学校に行きたい、日系人は日本人としての誇りをもっている、海外でお金を稼ぐために勉強をしている、スポーツは成功が約束されている手段なので稼げるスポーツをやる、とにかく陽気

### 児童の感想

- ▶ 日本ではありえないことばかり。
- ▶ すごく危険な国だけど、みんな生活をしていて楽しそう。
- ▶ とてつもなく広い国。
- ▶ ブラジルは日本好き。
- ▶ ブラジル人のイメージが「黒くて、裸足で走っていて、信号がない。」と思っていたけど、全く違っていた。逆に、ブラジル人は日本人のイメージが「サムライ、てんぶら…」などと答えると思ったのに、良いことばかり言ってくれていた。ブラジルの皆さんごめんなさい。

◆所感◆ 多くの写真や映像を見せて話をしていきながら、児童から出た意見をひろい上げていった。想像していたイメージと違うどころか、日系社会を初めて目にした児童であった。日系社会を詳しく知りたがる児童もいたが、今回の実践テーマは「夢に向かい、自分と向き合い、今できることを考える」であったことから、日系社会のことは深く掘り下げずに、日本から外国へ渡り、頑張っている人も多くいる、ということで学習を進めていった。私が思っていた以上に児童が日系社会に興味を示したことから、より理解をするために、今回の時数とは別途に時間をとる必要性を感じた。

## 3・4 時限目：ブラジルを知る②

ねらい…文化・考え方の違いを知る。テーマ：実は、ブラジルって……

### ◆内容◆

① グループに分かれ、写真を見て日本との違いや、なぜ違うのかを考える。

- スーパーのレジにて  
考えてほしかったこと：  
「相手の立場になって考える。  
相手を認める。」



スーパーのレジ（店員）



スーパーのレジ（並ぶ人）

### 児童の感想

- ▶ 自分がレジの人だったら、同じように遅くすると思う。
- ▶ 自分がレジの人だったら、周りを気にせずレジを早くうつ。
- ▶ 客を待たすのはいけないと思うが、ブラジルではみんな気にしていない。ブラジルの人が日本のレジに並んだらどう思うのかな。

- 日本語学習  
考えてほしかったこと：  
「何のために勉強をするのか」  
「信頼」



日本の教科書



日本語を勉強する教室

## 児童の感想

- ▶ 日本人が頑張ったから、ブラジル人に尊敬されている。
- ▶ ブラジルは外国なのに日本語を勉強している。日本語が好きだからだと思う。では、日本人は英語を勉強するけど、みんな英語が好きなのかな。
- ▶ 日系人という言葉を知った。

- ゴミ問題  
(あなたは思う? 日本との違いを考える)

考えてほしかったこと：  
「奉仕活動とは」「道徳心」



街 (落書き)



街 (ゴミ)

## 児童の感想

- ▶ 日本人の感覚とブラジル人の感覚が違うから不思議。
- ▶ 掃除をする人のためにそのままにしているのであれば、ブラジル人は優しいのでは？
- ▶ ゴミの仕事の人がいるからといって、ゴミを落としたり、無視をしたり、落書きをあえてする必要はない。では、ゴミの分別の必要はないのではないか。ブラジルは不思議だけでおもしろい国。

- ② グループで出た意見を発表する。
- ③ 感想を書く。

◆所感◆ ここでの学習は「知る」→「違いを認める」をキーワードに進めてきた。新しいことを知ることのおもしろさや大切さ、違いを受け入れる大切さ、さらには、自分の当たり前が当たり前ではない世界の広さを感じてもらえたと思う。そして、広く世界のことを考えることは、実は目の前にいる友だちのことを考えることにつながることで、自分とは違う一人ひとりを理解しようとし、共に生きる者として共に考えていってほしいという願いもある。

## 5 時限目：世界のことを知ろう①

ねらい…ブラジル以外の国に目を向ける。 テーマ：他の国のことも知ろう

### ◆内容◆

次時の出前授業に向けて、フィリピン、サモア、ケニア、中国、ジャマイカの国についてインターネット等を利用して調べる。

### ◆児童の反応◆

ブラジルの調べ学習ではどのように調べたらよいか分からない子どもが多くいたが、今回の学習では世界地図を広げ、日本からの距離や、国土の広さを確かめ、知っている情報を児童同士で交換しあう姿を多く見ることができた。



児童の活動の様子 2

◆所感◆ 事前に、ある程度の情報を与え、出前授業の時間短縮やイメージがしやすいように配慮を行った。そのことにより、人口や国土に焦点を絞って日本と比べるなど、疑問に思ったことを調べようとする児童が1時間目と比べ多くなった。

## 6・7 時限目：世界のことを知ろう②（JICA 出前授業）

ねらい…・ブラジル以外の国について知る。（こと・もの・ひと）

・いろいろな国があり、それぞれの考え方や生き方があることを知る。

テーマ：他の国のことも知ろう

### ◆内容◆

#### ① JICA 活動紹介

JICA では、どのような活動が行われているのか、国際協力とはどういったものなのかの理解を深める。

#### ② 自分の担当国のブースに行き、写真や資料を見ながら、JICA 関係者の体験談を聞く

共通テーマ：世界のことを知ろう！！「こと・もの・ひと」

#### ③ 報告・交流活動

班員が聞いてきた他の国の話を聞き、他の国についても理解を深める。自分が聞いてきたことを報告する。（1人5分程度）

#### ④ 全体の質問タイム

交流の際に出た疑問や、思ったことを全体の場で質問する。



児童の活動の様子3

### ！ココがポイント

自分の夢の実現のために「今、自分が身近にできることがあるとしたら」を考えることができるように話をしていただいた。

### 児童の感想

- ▶ 日本と感じ方が違い、国によっても違いがある。格差が大きい。
- ▶ 国によっては値段が分からないものもあるから不思議。
- ▶ 自分が知らないところでも日本は世界とかがわっていた。

◆所感◆ 児童が多様な文化や考えを受け入れることができたということを見ていて実感した授業であった。保健の授業で男女の違いを学習していたこともあり、いろいろな違いを認め、普段では「おかしい・不思議」と思うことでも、「何か理由があるはず」と、どこの国の話も肯定的に受け入れていた。

## 8 時限目：みんなの夢・わたしの夢

ねらい…遠く離れた国の同世代の夢を知ることにより、考え方の多様性に気づく。

テーマ：ブラジルの子どもたちの夢から見えること

### ◆内容◆

#### ① 前時の振り返りを行う。

#### ② ブラジルの同世代の子どもたちが答えた夢（アンケート）を見る。[資料2]

#### ③ 友達の意見なども聞き、夢（自分が想像する世界）について考え方の多様性に気付く。

### 児童の反応

ブラジルの子どもたちが答えた夢が、海外へ行くことが多かったことから、すぐに貧困・格差といった問題と結び付いていた。また、日本へ行きたいという夢を書いた人が何人がいたことから、日本の良さを見つけ出そうとする児童もいた。

◆所感◆ 「ディズニーランドへ行きたい。」や「良い教育を受けたい。」など本校児童にとっては夢とは思えないことが、ブラジルの子どもたちの夢と知り、自分にとって当たり前のことが相手の当たり前ではないことに気がついたように思う。また、貧しさや豊かさを問わず、誰もが夢を持っていることを知り、自分たちも夢(目的)をもたなければならないことは何となく気がついたようだが、やはり、まだ自分の将来を考えることが難しい児童も多くいた。

## 9 時限目：今できること

ねらい…自分と向き合う。

テーマ:わたしの夢は「〇〇〇」です。そのために今できることは「〇〇〇」です。

- ◆内容◆
- ・自分にとっての「夢」とは何かを考え、今の自分に何ができるかを考える。
  - ・ブラジルや他の国について学んだことを通して、多様性を認めるきっかけとする。

◆所感◆ 夢のために「お金が必要」や、夢は「大金持ちになる」という児童も数人いたが、「“今” できること」を真剣に考え児童同士で話し合う姿が見られた。結果、「人に優しくする。」や「他人の気持ちを知る。」「たくさんのお金を稼ぐために勉強する。」など多様な考えを皆が持ち発表することができた。また、将来の夢を考えることが難しい児童も“今”については真剣に考える姿を見ることができた。

### 4. 成果

児童にとってブラジルはテレビ情報での知識はあったが、一方的なイメージであったため、今回の授業ではイメージとの違い、特に考え方の違いについては衝撃をうけたようである。児童の振り返りからも「自分なら～と思う。でも、～」といったように、自分の考えを持ちつつも、相手を受け入れようとしている気持ちを多く感じることができた。また、ブラジル以外の国（フィリピン、サモア、ケニア、中国、ジャマイカ）を知ることにより、日本とブラジルを比べるだけではなく、他国同士で比べることによって、考えに広がりをもてるようになったと感じる。自分にとっての“あたりまえ”が相手にとっての“あたりまえ”ではないということが児童自身で自分なりに理解できたのではないかと思う。

### 5. 課題

限られた授業時数の中で実践を行うには、子どもに提示する資料の精選が重要であると感じた。また、提示した資料から最終的に何を伝えたいのかの目的を明確にする必要があった。

子どもたちは1枚の写真から予想できないほどの発見をし、話し合いが広がっていったのは良かった点だが、目的がそれれることもあったので、ある程度は見る視点や考える視点を絞り込む必要があった。しかし、絞り込みすぎると児童の考えに歯止めがかかるため、その調整が必要であると感じた。

資料1

ブラジルを知ろう  (時間目ワークシート)

	日本	ブラジル連邦共和国
言語	日本語	ポルトガル語
人口	1億2709万人	約1億9,840万人
面積	377,960km <sup>2</sup>	851.2万平方キロメートル (日本の約23倍)
あいさつ	おはよう、やあ	ボンジュー
主な食料	米、魚、肉、野菜	豆
コーラの値段	150円	場所によって違う。80円~200円位
学校生活	小学校1年~6年 中学校1年~3年 高校・大学 (受験あり) 4月~3月まで1年間	卒業後3年間の入学、職業、終業まで1年、職業別生 活が主になる。1年ある。

◆ どのようなことがありますか。

◆ どのようなことが起こっていますか。

◆ どのようなことがありますか。

JICA 出前授業も同様のワークシートを使用

資料2



ブラジルでの夢アンケート